

# 令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 旭区

学 校 名 城北小学校

学校長名 下山 敦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・城北小学校では、第6学年 43名

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度の平均正答率は、国語科においては全国平均を8.2ポイント下回り、算数科においては、全国平均を6.5ポイント下回る結果となった。

平均無答率については、国語科においては全国平均を2.7ポイント上回ったが、算数科では全国平均・大阪府平均を下回る結果となった。研究教科を算数に設定し、解決の見通しをもって問題に取り組み、粘り強く取り組む姿勢が育ってきているといえる。

この結果を受け、今後も引き続き基礎基本の定着を図るとともに児童の苦手な分野を分析し、個に応じた指導・支援に取り組むことで児童全体の学力の向上を目指していく。

## 分析から見えてきた成果・課題

### 教科に関する調査より

#### 【国語】

文の中で正しい漢字を書いたり、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけたりする問題には課題があり、全国平均正答率と大きな差がある。また、平均無解答率は全国平均と比べて高い傾向にあり、特に文章の内容を読み取ることが苦手で、粘り強く問題に取り組むことに課題がある児童が多いことが分かる。当該学年までの漢字を正しく使うための継続した漢字学習や、目的に応じて文章と図表などを結び付けて考える学習を引き続き行う必要がある。一方で記述式の問題では、正答率が大阪市平均を上回る問題があった。特に自分の考えを書く問題に対しては昨年度同様大阪市平均に近い正答率があり、個に応じた指導の成果が一定あると言える。

#### 【算数】

平均無解答率が全国平均・大阪市平均とも下回る結果となり、児童が見通しをもって問題に向き合い、粘り強く取り組んでいると言える。「データの活用」では、昨年度は5ポイント以上の差があったが、今年度は全国平均正答率との差が3.6ポイントに縮まり、改善が見られた。

一方で、「数と計算」「図形」「変化と関係」領域では正答率が全国平均より5ポイント以上下回り、課題が見られる。特に「( )や加法と乗法の混合した計算」、「式と場面とを関連付けて読み取る問題」については全国平均正答率と10ポイント以上の差があり、基礎基本の能力を身につけるための授業の改善が必要である。

### 質問紙調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の質問項目において、肯定的回答が68.1%と全国平均の83.5%を大きく下回る結果となった。また、「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問項目においても全国平均を下回っている。この結果から、自己肯定感が低く、自己の将来像に希望や可能性を感じにくくなっている児童の姿がうかがえる。

「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問項目においては、肯定的回答が86.3%と全国平均の85.3%を上回る結果となった。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の質問項目についても肯定的回答が全国平均を上回り、本校の児童は、友だちとの交流を含め、学校生活を楽しんでいることが分かる。

「学校の授業時間以外に普段、一日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の質問項目においては、「全くしない」と回答する児童が40%を超え、「読書は好きですか」の質問項目においても全国平均を下回る結果となった。

「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問項目においては肯定的回答が全国平均を10%以上下回る結果となり、大阪市の事業として自主学習ノートに取り組んではいるが、自主学習の習慣が身につけているとは言い難い。

## 今後の取組(アクションプラン)

○「学力アップアシスト事業」を活用し、今後も基礎基本となる学力の定着を図るとともに、個に応じた指導・支援の充実を図り、きめ細かい指導を継続して行う。

○たてわり班活動をはじめとする異学年交流を積極的に行い、自己の役割意識や自己有用感を高めることで、自己肯定感の向上に努める。

○旭区の取り組みである「自主学習ノート」を効果的に活用し、自己の特長や課題に応じた自主学習の習慣が身につくように努める。

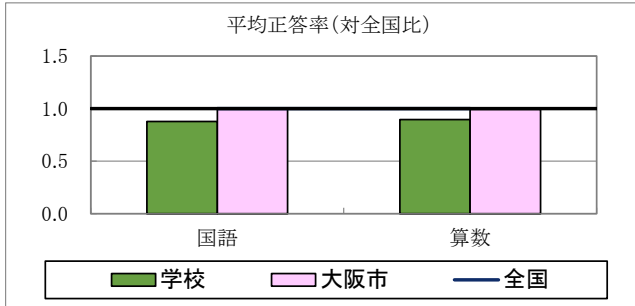
○課題解決に向けて粘り強く取り組む児童の育成を目指し、探究的活動や問題解決型学習を取り入れた授業改善に取り組んでいく。

○ICT機器を効率的に活用し、個に応じた学習や協働的な学びにつなげる。

# 【 全体の概要 】

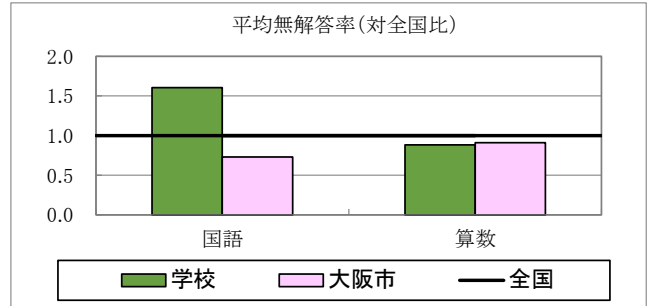
## 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	59	56
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5



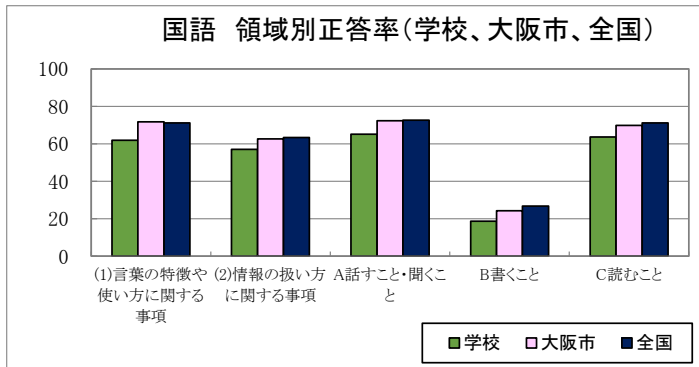
## 平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	7.7	3.0
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4



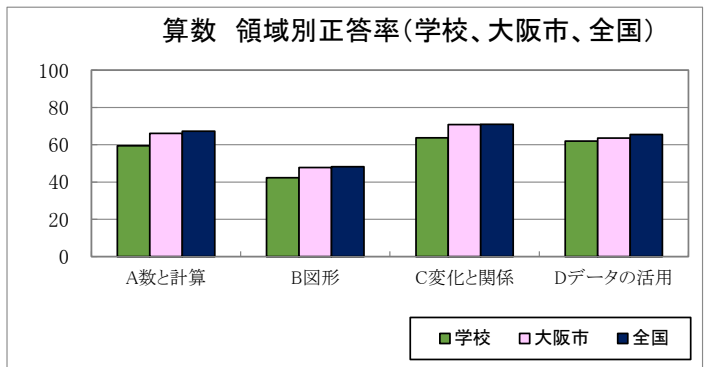
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	61.9	71.7	71.2
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	57.0	62.6	63.4
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	65.1	72.4	72.6
B 書くこと	1	18.6	24.2	26.7
C 読むこと	3	63.6	69.9	71.2

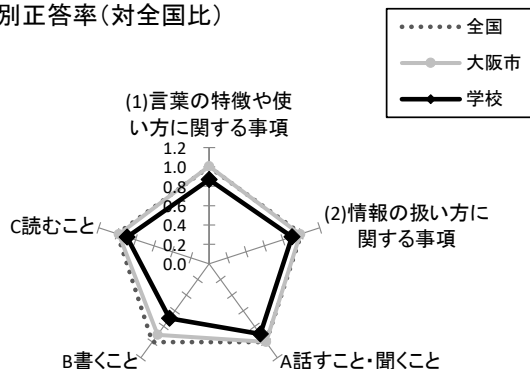


## 【 算 数 】

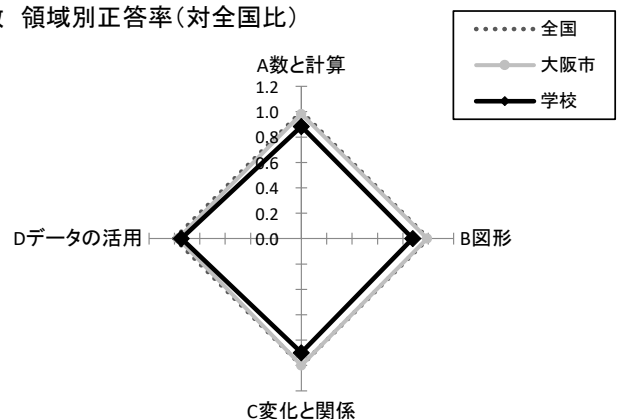
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	59.5	66.1	67.3
B 図形	4	42.3	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	63.7	70.8	70.9
D データの活用	3	61.9	63.6	65.5



### 国語 領域別正答率(対全国比)



### 算数 領域別正答率(対全国比)

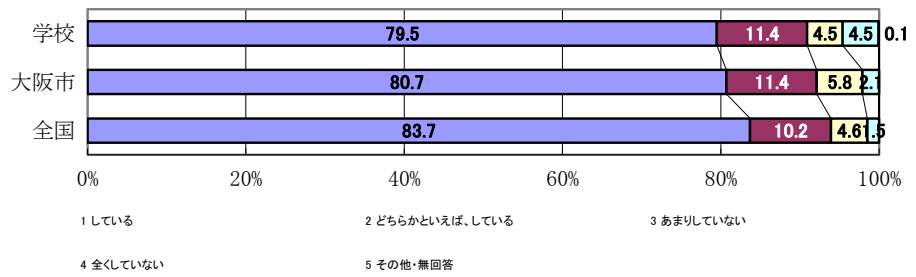


# 児童質問紙より

質問番号  
質問事項

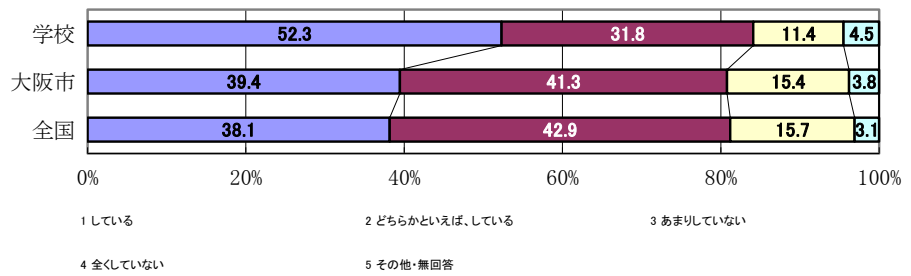
1

朝食を毎日食べている



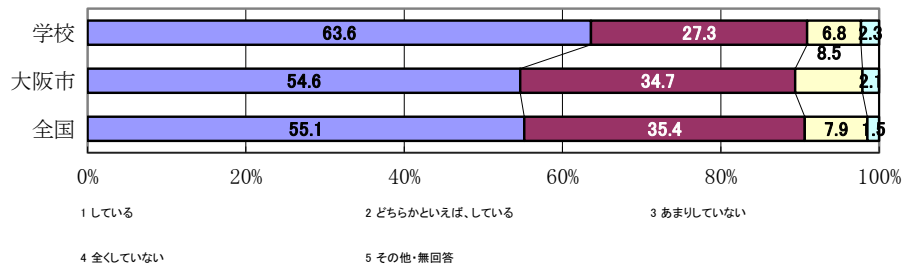
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ている



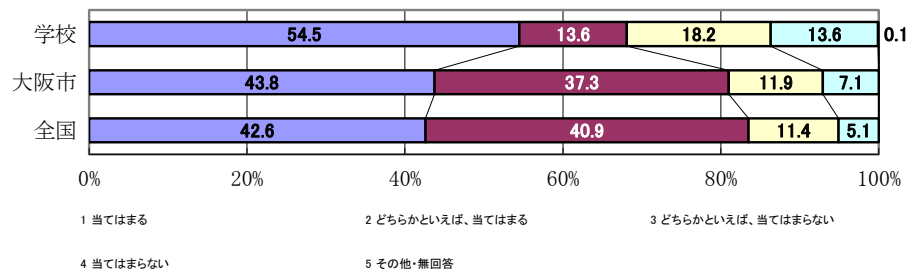
3

毎日、同じくらいの時刻に起きている



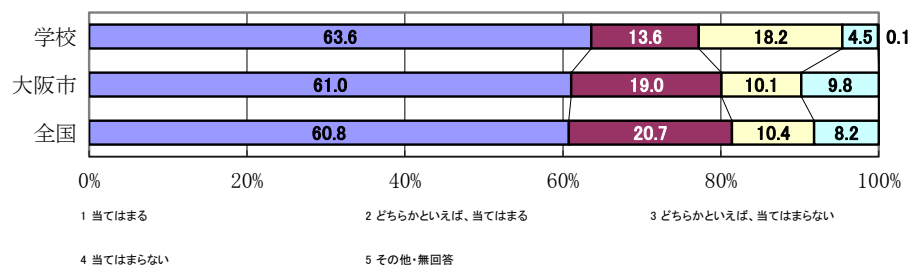
4

自分には、よいところがあると思う



7

将来の夢や目標を持っている



# 児童質問紙より

質問番号

質問事項

9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

11

人の役に立つ人間になりたいと思う

12

学校に行くのは楽しいと思う

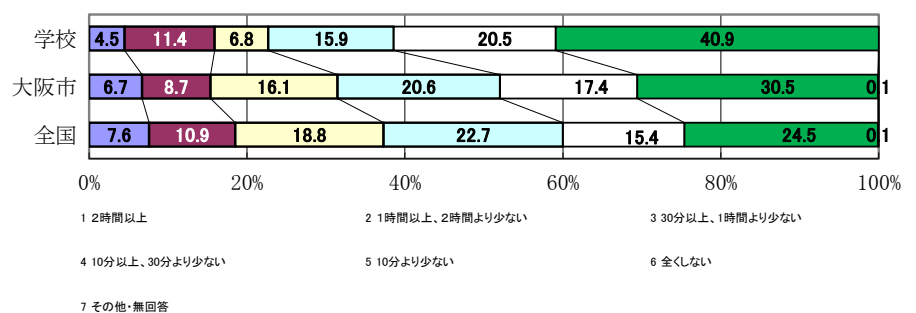
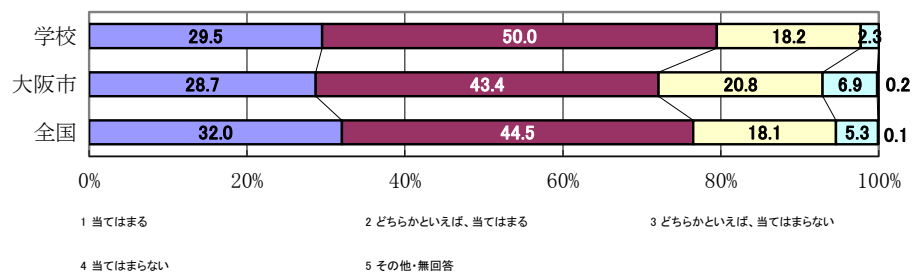
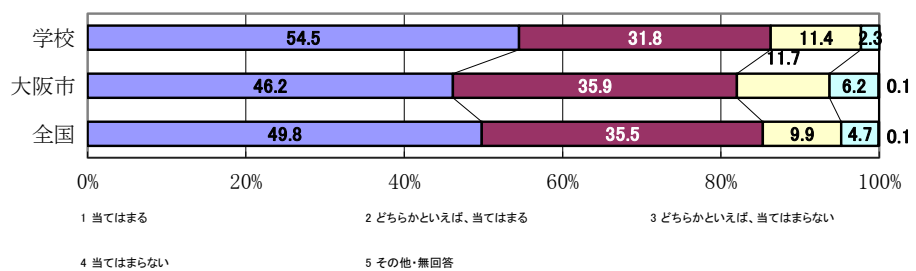
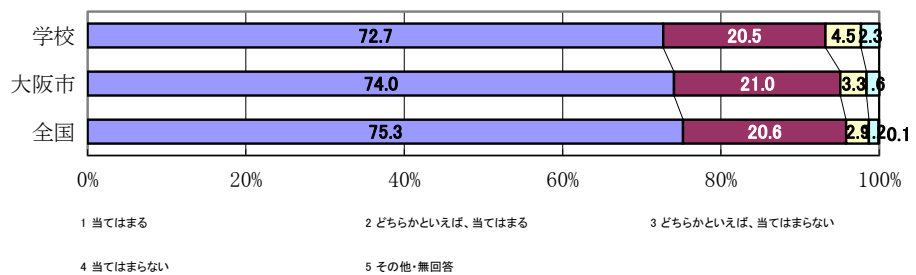
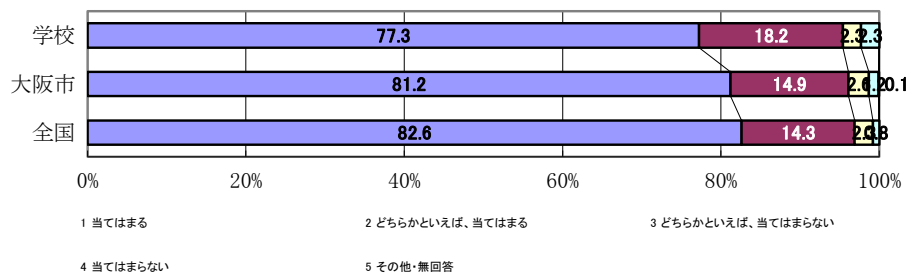
13

自分と違う意見について考えるのは楽しい

20

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

1 2 3 4 5 6 7 8



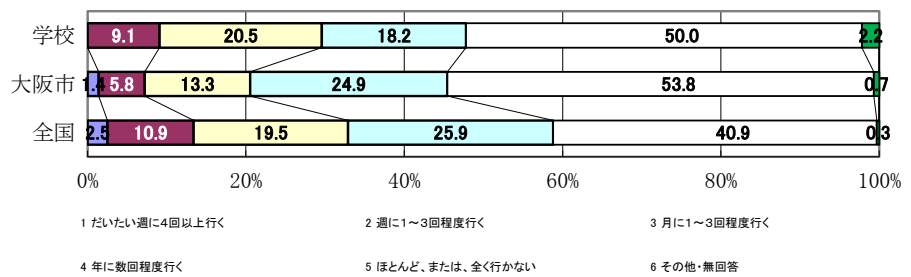
# 児童質問紙より

質問番号

質問事項

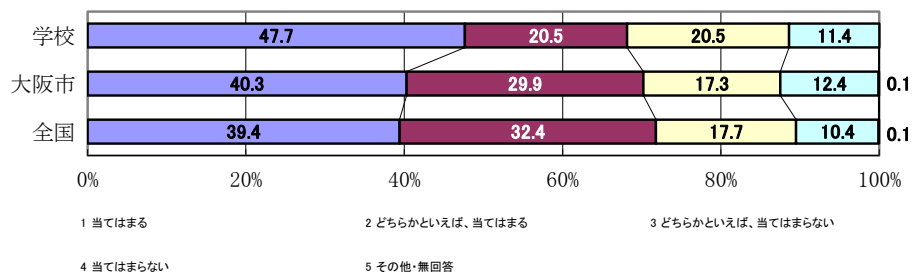
21

昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか



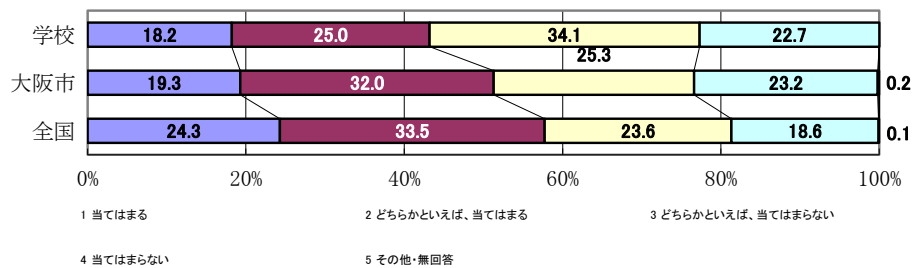
24

読書は好きですか



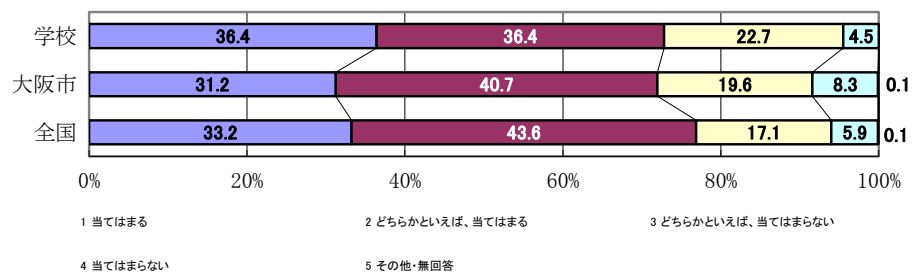
25

今住んでいる地域の行事に参加している



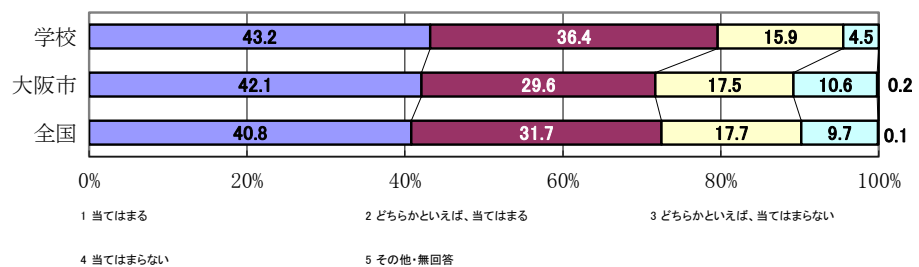
26

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う



27

外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う

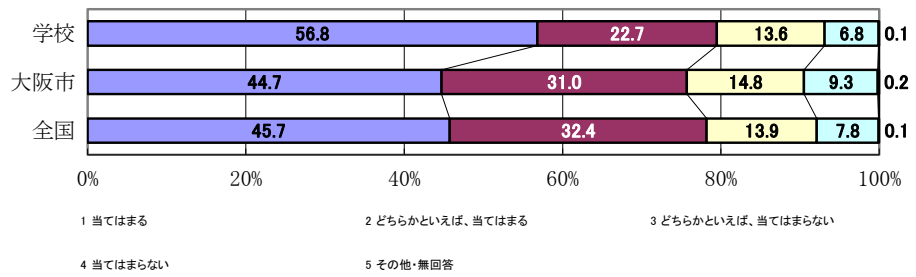


# 児童質問紙より

質問番号  
質問事項

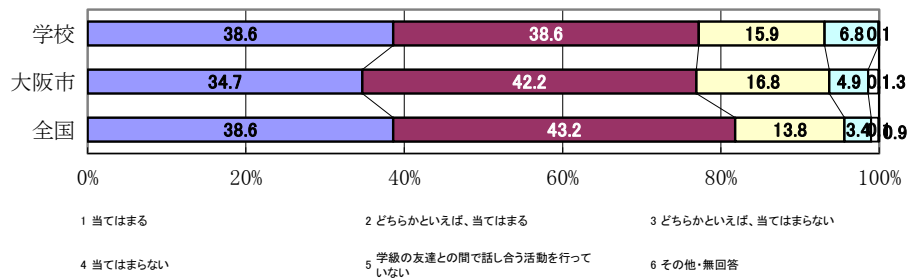
28

日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う



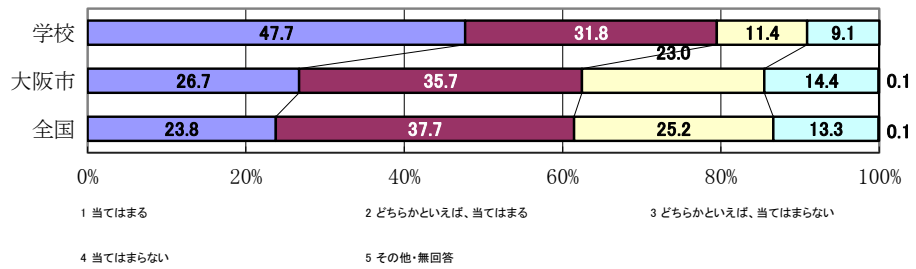
36

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



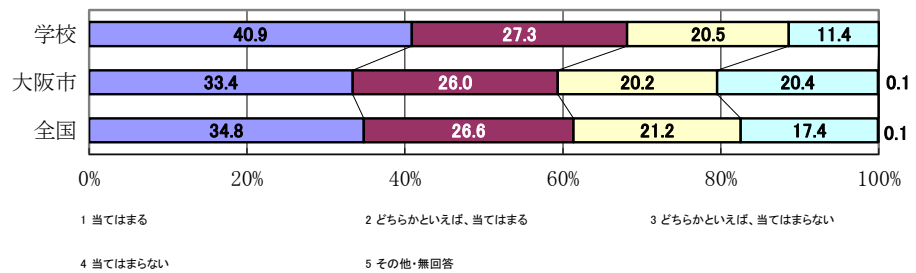
43

国語の勉強は好きだ



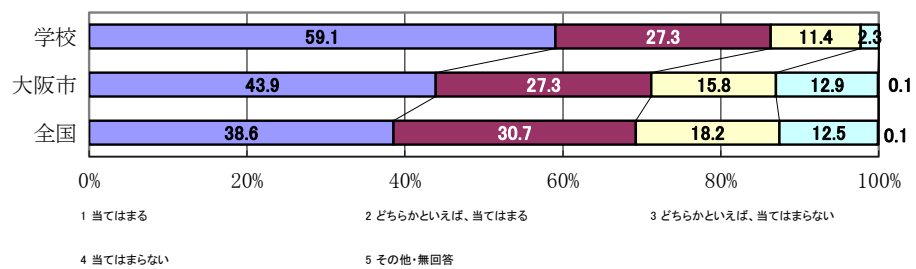
51

算数の勉強は好きだ



55

英語の勉強は好きだ



# 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

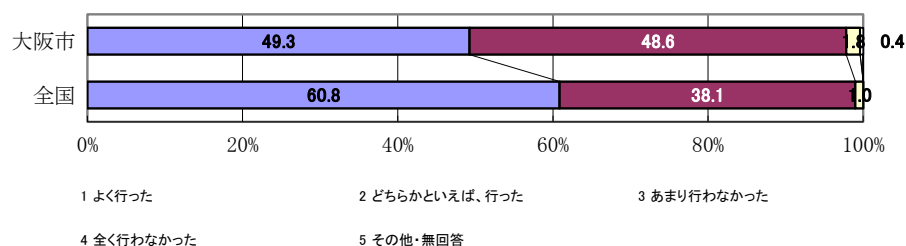
質問番号

質問事項

13

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った

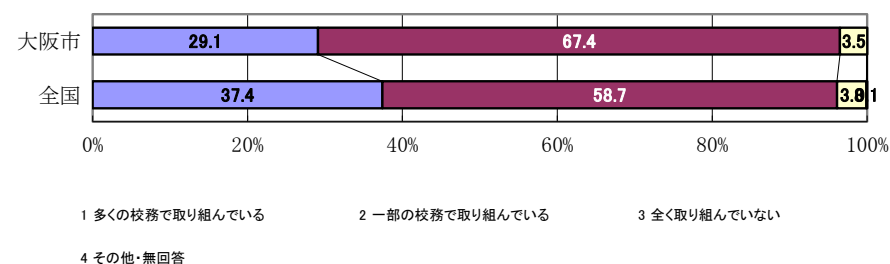
学校 「よく行った」を選択



17

ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)に取り組んでいますか。

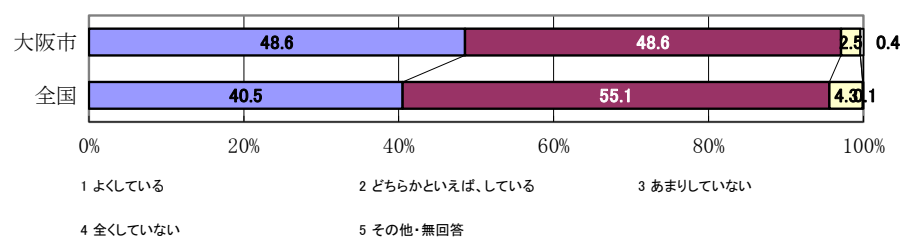
学校 「多くの校務で取り組んでいる」を選択



21

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる

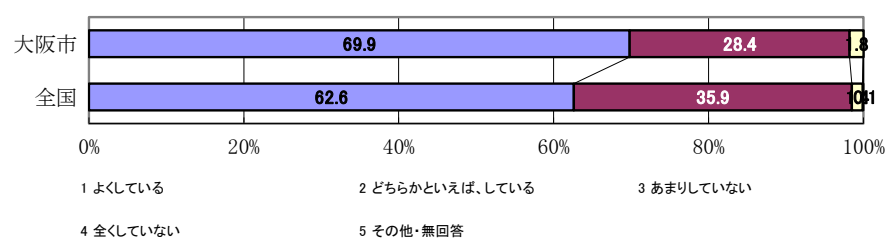
学校 「よくしている」を選択



22

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

学校 「よくしている」を選択



52

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択

